

今後の「まちづくり」には環境対策がマスト

AGORA 品田ひでこ

今治市バリクリーンは、市町村合併による広域ごみ処理施設ですが、一般廃棄物処理施設に留まらず新たな時代の「フェーズフリー」の考え方で、平常時は地域住民の活動拠点や環境啓発に、一方災害時には避難所機能を併せた画期的な施設でした。また、年間処理費用は、稼働当初（H30年）の11億円からR4年では8億円と各事業展開で約3割削減の成果を出している点は大いに評価できます。

「日本初のゼロエネルギーホテル」とテレビで紹介されて今回視察した「ITOMACHI HOTEL O（ゼロ）」は、想像を超える素晴らしい施設でした。エリア内はホテル、マルシェ、レストランの屋上に太陽光パネル設置で発電しエネルギーを自らつくり出しています。（設備容量 440kW） また、元気がない西条市地域を脱炭素社会の構築によって活性化していく計画は、事業主の故郷への強い思いが伝わり、市と地元住民と共に「まちの再生」へと取り組んでいます。コンセプトと実践に貴重な学びを得ました。

松山市内では、「道後地区の歩行者空間整備」（商店街と広場）「ロープウェイ街」の商店街再生に無電柱化整備等、実際に歩いて視察しました。観光客や市民が楽しく歩ける街の整備に積極的に取り組んでいる松山市の姿勢を体感し、歴史を感じる落ち着いた地方都市を醸し出していました。

今後の「まちづくり」には環境問題の解決策を織り込むことがマストであり、住民と一緒に再生することが重要と学び、実りの多い視察でした。